

基礎ガード

「基礎ガード」は、着色タイプのポリマーセメント系微弾性塗材です。ひび割れ追従性、中性化抑止機能に優れ、基礎巾木を長期に維持します。



Before

基礎ガードを塗装すると



After

新築にも

地震の備えにも、強い基礎が必要です。劣化抑止のため、塗装をお勧めします。

改修にも

細かいヒビ割れや変色部分をキレイにします。オシャレは足元から。

特長

- ① **コンクリートひび割れに追従** 微弾性の塗膜が微細なひび割れに追従します。
- ② **省工程** 上塗り不要(着色タイプ)の製品のため、ひとつの材料で仕上げる事ができ、低コスト・工期短縮が可能となります。
- ③ **中性化抑止効果** ポリマーセメント系塗膜による高い付着性により、中性化の要因物質の侵入を抑止します。
- ④ **水系塗材で環境にやさしい** 水系仕上塗材ですので、臭いも少なく安心して使用頂けます。

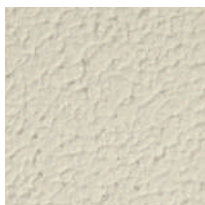
施工工程

- 1 下地処理
- 2 下塗り
ウールローラー
- 3 主材塗り
多孔質ローラー
- 4 完成

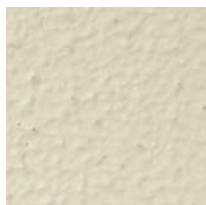
標準色



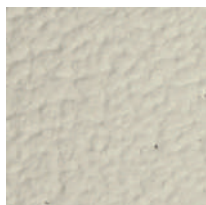
■KG-01



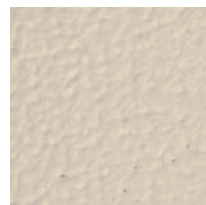
■KG-02



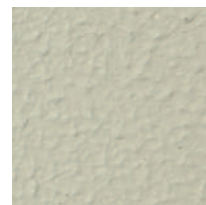
■KG-03



■KG-04



■KG-05



■KG-06

※セメント系製品のため、色はイメージとなります。実際の色は見本板でご確認ください。
 ※上記は印刷のため、現物とは色や艶の見え方が異なりますので、予めご了承ください。

標準施工仕様

(23℃)

工程	材料・荷姿	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (hr)	所要量
前準備 (必要に応じて)	基礎巾木周りの地面を掘り下げて、基礎立上り面を全て露出させ、付着した土を完全に除去し、乾燥した清浄な面とする。				
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。セメント系下地調整塗材を用い、素地の巣穴・段差に注意しながら全面をしごき塗りし、フラットな面として下さい。				
下塗り	基礎ガード 粉体:16kg 混和液:12kg 清水:0.8~1.2L	ウールローラー、はけ など	1	1以上	56~93㎡/28kg 0.3~0.5kg/㎡
主材塗り	基礎ガード 粉体:16kg 混和液:12kg 清水:0.8~1.2L	多孔質ローラー	1	-	28~40㎡/28kg 0.7~1.0kg/㎡

- (注1) 上記の各数値は、全て標準のものである。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。
- (注2) 練り容器の内壁もしくは底部に粉体が残ると、ままだ粉の原因となるので、へら等で内壁に付いた粉体を掻き落とし、再度ミキサーで攪拌して下さい。
- (注3) ままだ粉が生じた場合は、こし網等で除いてから使用して下さい。
- (注4) 可使時間は、60分(20℃の場合)なので、それまでに使い切して下さい。
- (注5) 別途混合容器を用意して、一度に使い切れる量を計量して混合して下さい。
- (注6) 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないようにして下さい。
- (注7) 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行って下さい。
- (注8) 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDSを参照して下さい。
- (注9) 施工方法により若干の色相差を生じることがあります。
- (注10) 施工直後の降雨・結露等により塗膜のふくれ、剥離、白化等の不具合を生じる場合があります。降雨や結露が予想される場合は施工を避けて下さい。
- (注11) 所定の塗付量に達しない場合や超えてしまう場合には、種々の欠陥を生じる場合があります。所要量を守って施工して下さい。
- (注12) 状況に応じてプライマーを施工する場合があります。

用途

基礎巾木の塗装

色調

6色

艶

艶消し

荷姿

28kgセット

(主材 16kg / 袋、 混和液 12kg / 缶)



基礎ガード
特集ページはこちら



注意点

施工上の注意事項及び安全衛生上の注意事項をご確認の上、施工ください。
 各製品ごとの注意事項については、ダウンロードサイトよりご確認ください。

kikusui ダウンロードサイト

掲載製品を取り扱う際は、各製品のSDS及び
 標準施工仕様書をご確認ください。



菊水化学工業株式会社 本社 ☎ 052-300-2222(代)

ホームページ ▶ <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



- 札幌 ☎ 0133-62-5580
- 金沢 ☎ 076-290-2256
- 広島 ☎ 086-244-3711
- 仙台 ☎ 022-706-5710
- 松本 ☎ 0263-30-1562
- 福岡 ☎ 092-433-6262
- 北関東 ☎ 0280-98-5232
- 静岡 ☎ 054-655-5150
- 鹿児島 ☎ 099-222-5139
- 東京 ☎ 03-3981-2500
- 名古屋 ☎ 0568-69-5200
- 横濱 ☎ 045-595-1550
- 大阪 ☎ 06-7668-5320
- 新潟 ☎ 025-364-6066
- 岡山 ☎ 086-244-3711